

# 財政基盤を確立して確かな未来を

## 〜平成18年度施政方針〜

今月は、平成18年度の施政方針をお知らせします。

「施政方針」は、市長が市政運営についての基本的な考え方や

重点施策などを、市民の皆さんにお示しするものです。

将来を見据えた持続可能なまちづくりのために、本年度は、人件費や投資的経費の削減など、これまでの考え方に捉われない大胆な歳出の見直しを行いました。その中にもあっても、福祉と教育については、できるだけ縮小しないようにしました。本年度も、「明るく」「楽しく」「元氣よく」を基本理念に、「市民の目線」「市民の視点」に立った市政運営に努め、「手をつなぎ 心とぎめく 石巻」の実現を目指していきます。

## 「赤字再建団体」への転落阻止のために

本市の財政状況は、他都市の財政状況よりも、さらに厳しく、「赤字再建団体」が間近に迫っている状況です。

これまで国や地方で行ってきた政策は、その時代時代に応じたものではありましたが、バブル経済が崩壊し、デフレ経済に陥ることなどを見通すことができませんでした。このことが、それぞれ財政の実態に合わない事業を実施することになり、現在の状況を招いてしまった理由の一つであると考えています。

しかし、私はこのような状況をけつして悲観しているわけはありません。これは我々に与えられた飛躍のチャンスであると思っています。問題を先送りせず、未来を見据えて、財政再建に真剣に取り組んでいきます。

新市の将来に向けた施策展開を確かなものにするために、全庁的に、歳出構造の見直しを行い、既存事務事業の取捨選択による予算の縮小を図ったところです。それでもなお不足する財

源確保のために、本年度から2年間、特別職の給料を10パーセントから7パーセント、一般職の給料を5パーセントから3パーセント削減するなど、人件費の抑制を図ったところです。

このようなことから、本年度は、関係する皆さんに対する「痛みのある改革」となりました。しかし、この痛みを避けて通ると、県下第2の都市「石巻市」も、「赤字再建団体」に転落す

ることとなり、将来世代に「ツケ」を回すこととなります。

「子どもたちの将来のために」「赤字再建団体」には絶対に転落させてはいけない」との強い信念のもと、正に断腸の思いで決断したところですので、皆さんのご理解とご協力を切にお願いするものです。

## 5つの項目を重点的に

本年度の市政運営に当たっては、次の5つの項目を重点的に取り組みます。

### (1) 行財政改革の断行

#### 〔具体策〕

新市の発展を目指して自立していくためには、行財政改革を断行しなければなりません。積極的な情報公開による市民と行政の課題の共有化を前提に、次の5つの基本的な方針を掲げ、進めていきます。

- 「公から民への施策転換」
  - 「職員定数の削減と職員の意識改革」
  - 「財政の健全化」
  - 「成果志向の行政経営」
  - 「顧客志向と説明責任」
- ① 総合支所を中心とした効率的でスリムな行政組織への再編
  - ② 平均4・8パーセントの引き下げとなる給料表の切り替えなどによる人件費総額の抑制
  - ③ 合併によって生まれた類似施設の統廃合と、地域コミュニケーションの充実
  - ④ 民間と競合する赤字施設のあり方の検討
  - ⑤ 成果重視の施策展開のための、市民の視点による行政評価システムの構築

## (2) 市民の一体感の醸成

合併で生まれた多様な資源や資産を融和させながら、新しいまちづくりを進めるためには、各市民が旧市町単位の住民感情をほぐし、できるだけ早く一体感を持てるようにすることが大事です。そのため、17万市民の心をつなぐ事業を引き続き実施していきます。

### 【具体策】

- ① 「市民スポーツフェスタ」「小学校リレーマラソン大会」「キッズ交流大会」などのスポーツイベントの開催
- ② 地域における伝統芸能の競演の開催



▲市民スポーツフェスタ

- ③ 新石巻市の文化財・景勝地・文化施設などを探訪する「新石巻市の文化・歴史見聞ツアー」などの実施

## (4) 安全・安心のまちづくり

今後想定される宮城県沖地震やその他の災害への対策、有事における応急対策などの体制の確立を図っていきます。

長年の念願でありました消防本部庁舎につきましては、PFI方式によって、防災センターも備え、本年度建設に着手しました。

また、未来を担う子どもたちが、安心して暮らせるまちを目指していきます。

### 【具体策】

- ① 専門的知識を有する「危機管理監」の配置と、各部および各総合支所への「危機管理担当」の配置

- ② 「国民保護計画」の策定と、平成19年度に向けた「地域防災計画」の策定への着手
- ③ 高齢者や障害者などの援護が必要な方に対する、地域ぐるみの支援体制づくり

- ④ 各町内会や行政区と連携した、防災ネットワークの設立促進
- ⑤ 町内会などが行う防災マップの作成支援

- ⑥ 学校施設の耐震診断と、補強を要する施設の計画的な整備
- ⑦ スクールゾーン内の危険ブロック塀などの除却助成事業
- ⑧ 不審者に対する「地域の目」の強化と、危機管理マニュアルの整備



▲総合防災訓練

## (3) 市民との協働によるまちづくり

「市民参加」や「協働」は住民自治の原点です。

情報の公開と共有を一層進め、市民の皆さんの自発的な参加や参画をいただくよう努めます。

### 【具体策】

- ① 「地域まちづくり委員会」の提案に基づく検討や協議
- ② 「総合計画」や各種個別計画へのパブリックコメントや地域説明会の実施

- ③ 「市政モニター制度」や移動市長室「市長と話すつ茶屋」、市長室開放デー「ございん市長室」の実施



▲市長室開放デー

## (5) 地域資源の連携による産業振興

新石巻市は、沿川と沿岸で結ばれた都市です。大河・北上川の河川がもたらす、限らない肥沃な大地と、太平洋に突き出た沿岸部がもたらす豊富な資源に恵まれています。

海、山、川、島に囲まれた自然豊かな「食材の宝庫」であり、「海の幸」から「山の幸」まで、ありとあらゆる新鮮な食材がそろいます。

東部は「南三陸金華山国定公園」に位置し、金華山をはじめとする観光資源も豊富です。

さらに、各地域には、それぞれ長年培われてきた特色ある伝統産業や伝統文化・芸能が息づいていますので、このような特徴を十分に生かします。

### 【具体策】

- ① 地域資源の連携による産業振興策を含めた新たな「産業振興プラン」の策定と、その施策展開



▲北上水辺センター

以上が重点的に取り組む施策です。

なお、施政方針では、「新まちづくり計画」の7つの基本方針に基づいて主要施策を定めています。5ページの「一般会計予算の主な内容」と重複する点が多いため省略しています。

施政方針の全文は、ホームページに掲載しています。

問 総合政策課（内線489）